

ごへんち

～すべては子どもの笑顔のために～

二戸市立御返地小学校

第15号

令和6年11月19日

神楽練習をしています

総合的な学習の一環として、文化的行事の継承を御返地小学校でも大切にしています。本地区では、昔から伝わる似鳥の神楽を、秋のこの季節になると、権現の舞や鳴り物（楽器）の演奏を通して伝承していく活動を行っています。

20日（水）の「ふれあい感謝の会」で披露するために、4年生～6年生で練習に取り組んでいます。学校運営協議会の学習支援部からの協力も得て、腰の高さや、足の向き一つ一つ、教えていただいていたました。



顔の向きや、打つ回数に注意します

いのちの授業

11月1日（金）未来の風せいわ病院の先生から 「みんなで生きる～ネット・ゲーム依存が健康に与える影響（ネット・ゲーム依存予防）～」についてお話をいただきました。

子供たちは、どうすれば依存せずに生きていけるのか、大人は、依存から子どもを守るために何をすればよいのかを学びました。「依存症」とは、物質の使用や行為をコントロールできなくなって、やりすぎてしまい、生活に悪影響が出る病気「コントロール障害」だということ、つまりわかりやすくいうと、心のブレーキが効かなくなることだというお話をききました。一つの事だけではなく様々なことをやってみることも、依存を防ぐ一つになるという事を学びました。



漆の植樹を行いました

11月15日（金）3年生～6年生が、市の「ふるさと文化財の漆の森」に、漆の苗木を植樹してきました。

始めに、苗木の植え方を教えてもらい、2人一組で苗木を植えました。穴をほって、苗木の15～16センチぐらいまで穴に入れて土をかけます。その周りを倒れないように、足で軽く踏み固めます。昨年も経験している人たちがほとんどだったので、手際よくどんどん植えて、あっという間の短時間で150株を植えました。

苗木が育ち樹液が採取できるようになるには、15年～20年ぐらいかかるそうです。さて、みんなはどんな大人になっているのでしょうか。楽しみです。

わいばしの目印場所に植えます

15年後にどうなっているかお楽しみ

オリンピック選手からお話を聞きました！！

11月11日（月）二戸西小学校さんと一緒に、オリンピックの競歩選手から、3年生～6年生のみなさんでいろいろなお話をききました。

「競歩」というのは、そもそもどのような競技なのかというお話から、小さい頃はサッカーをやったことなど、さまざまな事に子どもの頃からやってみることが大切だということが話の中でありました。

最後には、実際に競技に使用した、メダルユニフォーム、シューズなどの他にメダルも見せてもらいました。シューズを手で持ってみたら、あまりの軽さにびっくりしました。最後には、速さ競争！！当然のごとく、早い！！

